

GISの共同利用について

～北九州地区電子自治体推進協議会(KRIPP)～

平成30年10月4日
北九州市
総務局情報政策課



KRIPPの枠組みを活用したGISの共同利用

北九州地区電子自治体推進協議会（KRIPP）「GIS部会」での運用

【参加自治体】

北九州市、行橋市、苅田町、直方市、香春町、鞍手町、北海道室蘭市

【共同調達範囲】～割勘効果による費用低減～

- システム基盤（住民公開用）
- ArcGIS自治体サイトライセンス
- ゼンリンZmap-town II
- ネットワーク
- 導入・運用等委託（GISセンター）

対外的発信と共同研究

【対外的発信】

（一社）G-mottyが運用するホームページ「G-motty」での公開

【共同研究】

- G空間サミット
- 広域勉強会
- 地域GIO会議
- （ ■ 庁内GIS-WG ※各自自治体内）

GIS/G-mottyの構成



利用形態

業務内容・利用方法に合わせて柔軟に選択

参照 → Web型 (ライトユーザ向け) 更新や分析 → ArcGIS Desktop (ヘビーユーザ向け)



GISデータ コンテンツ

データは集約し、一元管理

「GISセンター」で一元管理。常に最新データに保つ

~~アプリケーション~~

作り込みなし（専用システムにはしない）



GISエンジン

ESRI社ArcGIS自治体サイトライセンス

定額、GIS使い放題ライセンス！各部署で柔軟な使い方



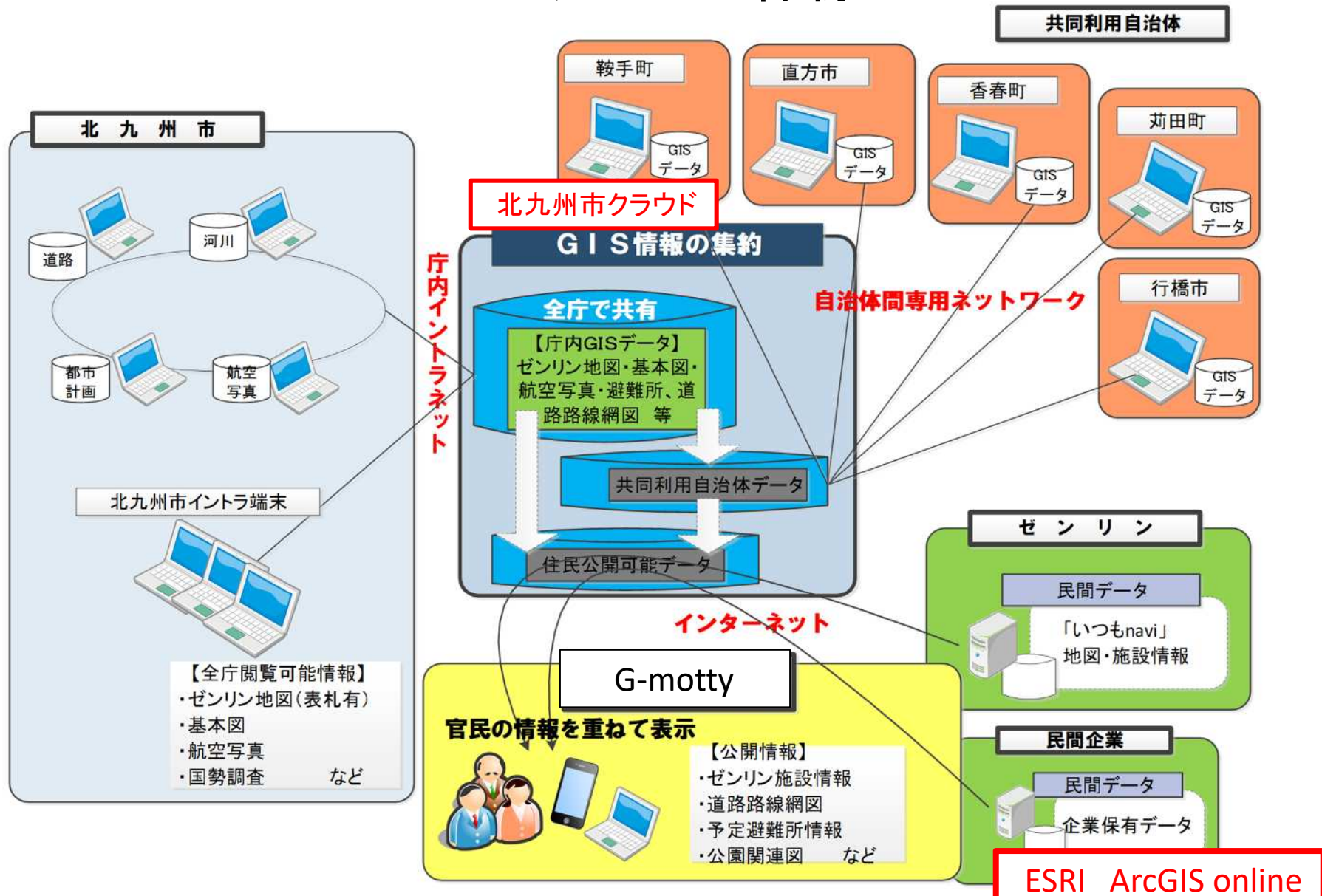
ハードウェア プラットフォーム

北九州市クラウド、ArcGIS online

北九州市の基幹業務を動かすPaaS型クラウド基盤
(G-motty行政情報や、自治体連携サーバ、北九州市庁内GISに利用)
ArcGIS online



システムの全体像



KRIPPへ参加するメリット

- 他自治体とのつながり、ノウハウや事例を共有
- クラウドサーバの利用（北九州市クラウド、ArcGIS online）
 - 住民公開向け、自治体連携サーバ、ArcGIS online
 - （庁内向けサーバは別）
- G-mottyで検討・整備するサービスは自由に使用可能
- 契約や入札などは、KRIPPの事務局が実施
- 参加自治体は、負担金の支払い

お問い合わせはお気軽に北九州市 情報政策課まで！

